



伊藤 千春 議員
無会派

問 よりよい部活動の地域移行実現を

答 部活動の充実に向け取り組む

○「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」について、以下を問う。

問 改定内容で話し合われたか。

答 〔教育部長〕 慎重に検討し、実効性のある支援を目指す。

問 その時の意見は。

答 地域全体での支援体制の整備、生徒にとってよりよい環境の提供を具体的に取り組むよう進める。

問 地域移行の目的は。

答 地域連携の強化。

問 理由は。

答 多様な活動の選択肢を持ち、豊かな経験と学びを得ること。

問 課題は。

答 指導者の確保、安定した指導体制と持続可能な運営体制の構築。

問 指導者確保が難航している原因は。

答 経験豊富な指導者が少ないため。



▲部活動の地域移行・地域連携(文化庁HPより)

問 講習を行わないのか。

答 毎年、部活動指導員研修会を開催している。

問 指導方法の相違対応は。

答 連携を強化し指導方法や練習内容の共有が重要。

問 事故やケガ等の対応は。

答 個人負担で保険加入が必要。

問 スポーツや文化の発展に対する考えは。

答 世代間交流を図る。

問 平日部活動のあり方は。

答 生徒の体力向上や精神成長を促す重要な役割。

問 今後のスケジュールは。

答 充実に向け、国や県の動向と近隣市町村との情報共有を行う。

問 市制施行20周年事業の進捗は

答 令和8年に向け協議検討中

問 10周年事業の主な内容は。

答 〔総務部長〕 やとみ春まつり、ラジオ公開録音、金魚サミット、出張!なんでも鑑定団など。

問 20周年事業の観点は。

答 市民が本市に誇りと愛着を持ち自然、歴史、文化など次世代に継承し未来へと思いを繋げる。

問 目的は。

答 本市の魅力を生内外へ発信し発展と飛躍を目指すため。



▲市制10周年の模様(2016年)

問 準備体制は。

答 庁内連携会議を重ね着実に前に進める。

問 市民や市内事業者と一緒に取り組む考えは。

答 市民や、団体等が主催し冠称等を付け実施する冠事業を検討。

問 現在の進捗・検討状況は。

答 市制施行20周年記念のキャッチフレーズ、ロゴマークを募集予定。

問 今後の進め方は。

答 必要な協議を重ね事業等を検討する。